

島田市長 染谷絹代 様

提 言 書

令和元年 9 月 30 日

島田市議会

提 言 書

本市議会では、令和元年8月30日から9月30日までの間、平成30年度一般会計の決算に関する事項について審査を行い、その内容を踏まえ、以下のとおり提言する。

1 がん検診の受診率向上について

日本人の死因の第1位であるがんについて、早期発見、早期治療により重症化を予防することが重要であり、また、この結果として医療費の縮減も期待できるものと考えられる。

国が策定した「がん対策推進基本計画」において、がん検診の受診率を50%とする目標数値を掲げている。

これに対して当市の平成30年度の受診率は、13%から38%となっており、受診率の向上には、がんに関する知識の習得と理解を深めることが重要である。

当局においては、受診率の向上につながるよう、引き続きがんに関する知識の普及啓発と受診の必要性などの効果的な周知を図るとともに、受診しやすい環境づくりに努められたい。

2 森林施業補助事業について

森林施業補助事業は、木都島田の復活、林業の成長産業化、山地災害防止等の面からも重要な事業であると考えられる。

森林施業補助事業の中のしずおか林業再生プロジェクト推進事業については、平成29年度、平成30年度と他地域での事業が優先されたため、十分な森林整備が実施できていない。

引き続き、さまざまな国や県の補助事業を活用し森林整備を進めるとともに、新たな財源である森林環境譲与税を活用し、市が主体となった新たな事業を創設、確立し、これまで以上に、市内の森林整備が着実に進むよう、積極的に事業を実施していくよう求める。

3 旧清掃センター解体への早急な着手について

旧清掃センター解体事業については、現在、解体工事事前調査及び設計業務委託が完了しているが、施設の老朽化が進んでおり、また、解体には最低でも3年はかかるとのことである。

そのため、今回の調査や設計委託が無駄になることなく、早期に解体作業に着手するよう進められたい。